

いっぱい飛んで楽しかった

～夏休み工作教室～

7月26日(木)、文化伝承館で『夏休み工作教室』（市主催）が開かれ、12人の小学生が参加し、グライダー（飛行機）作りに挑戦しました

このグライダーは、牛乳パックと割りばし、輪ゴムを材料としたもので、参加者は郷土資料館ボランティアグループSLGの指導のもと、垂直尾翼と水平尾翼、主翼になる部分を牛乳パックから切り取り割りばしに固定。最後に自分の好きな色を塗って完成させました。

完成後は、みんなで飛行実験。最初はうまく飛ばせなかった子どもたちも飛ばし方のコツを教え合いながら、最後は上手に飛ばしていました。

参加者は、「羽が曲がっていると真っすぐに飛ばないので難しかったけれど、楽しかったです」と話していました。

27日(金)にも同教室が開かれ、25人が万華鏡作りに挑戦しました。



縄文人ってすごい

～縄文文化体験学習『縄の模様であそぼう』～



7月25日(水)、のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』（旧登別温泉中学校）で縄文文化体験学習『縄の模様であそぼう』（市主催）が行われました。

はじめに、市の学芸員が、復元した縄文土器や本を見せながら「縄文土器には縄の模様が入っています。縄で模様を付けますが、縄のより方で模様が違うんですよ」と説明。参加者は、粘土をいろいろな形にし、木の枝に縄を巻いたものや竹串で模様を付けてから、外に出て炭火で焼き上げました。

できあがったものの中には、空気が入って膨らんだものもありましたが、ほとんどが大成功。参加者は完成品を見ながら「縄文人はこういうふういろいろな物を作っていたんですね。すごいですね」と感心していました。

お母さんと一緒に料理に挑戦

～食育おやこ料理教室～

7月30日(月)・31日(火)の2日間、しんた21調理実習室で『食育おやこ料理教室』（登別市食生活改善推進員協議会主催）が開かれ、2歳から小学6年生までのお子さんとその保護者、合わせて53人が参加しました。

はじめに、栄養士がごはんやパンなどの主食、肉や魚などの主菜、野菜などの副菜をバランスよく食べることや、朝食の大切さなどを説明。調理実習では、おむすびやささみロールカツ、かきたまスープ、オレンジゼリーを作りました。

子どもたちは、「わたしにもやらせて」と慣れない手つきで野菜を切ったり、肉を巻いたりして積極的に調理実習に参加。調理後の試食では、満面の笑みを浮かべながら「すごくおいしいね」と感想を話していました。

